

1月14日 冬ならではの👶

年末から、雪が降ったり水たまりが凍ったりするのを、子どもたちは目をキラキラさせて見たり触れたりしていました。先週は、朝の冷え込みが厳しくなりましたね。「明日は氷ができるかなあ？」と、透明カップに水をはってみました。花壇で集めた木の実を入れている子もいます。いくつも試したくて、「せんせい、カップもうないの？」と探すので、紙もカップも出しました。「ペンで色を付けて水を入れてみよう！」と案を出すと、色付けが始まりました。



「色ついた！」心を躍らせながらこぼさないように運びます。そして、穴を掘った土の中や屋根のあるところ、コンクリートの上など、「こっちも置こう！」といろんなところに運んでいました。



そして次の朝

夜中に降った雪でうっすら白くなった地面。車も歩行者も安全に十分注意しましたね。登園してきた子どもたちは雪遊び用の手袋がうれしくてたまりません。そして、「こおり、できてるかな？」と早く確かめたそうです。



駐車場で見つけた氷を大切に持ってくる子もいました。「どこで見つけたん？」とうらやましそうに集まってくる子どもたち。

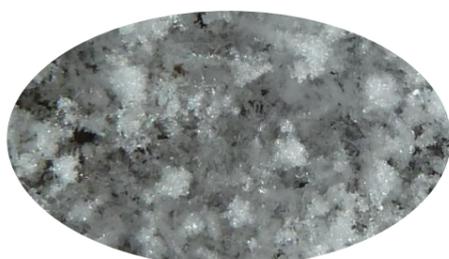
🎵朝の準備ができたなら早速外へ GO→



「こおってる！」「サラサラやで」「下は水のままだ」と、凍り方の違いに気づいたり色のついた氷ができたりし、カップから出して見えています。



「みて、みて、ゆきのかたち！」



ゆきだるま on the rock 😊

「ここは屋根の下やし、こおらへんかったのちがう？」子どもたちなりにいろいろと考えていました。

氷に夢中になっている子どもたちを横に



ちょっとの雪でもチャンスは逃さないぞ!と、かき集めた雪で雪合戦



裏の畑へ回ると
こ～んな氷も見つけました

保育者が、
こ～んな雪だるまも
作りました♡



すると子どもたちも続いてもうひとつ



「せんせい、いつ中に入るの？」 「そろそろ入ろうか」

きっと、手足の冷たさをじわじわと感じていたのですね。

寒さを忘れて、冬ならではの満喫した子どもたちでした♪